



# 伊興中だより



令和7年3月24日 No10

足立区立伊興中学校  
校長 森田 卓司

## ある実業家の「信念と志」が社会を変えた！

～3月4日全校集会での校長講話より～

校長 森田卓司

さて、今日は、信念と志について、ある企業経営者の話をします。

今日の話は、宅配便業者の草分け的存在であり、宅配便の代名詞にもなっているクロネコヤマトの宅急便にまつわる話です。クロネコヤマトの宅急便は、この会社の2代目社長 小倉昌男さんが始めた事業です。彼は、父親が創業した運輸会社の経営を1971年に受け継ぎましたが、その直後のオイルショック等の影響で会社は倒産の危機に瀕します。そこで小倉社長は考えました。それまでの大物貨物を扱うのではなく、家庭に直接品物を届けるサービスを提供できないかと。当時の運送業界では、全国規模の家庭配達には郵便による小包が独占状態で、しかも運送業界を管轄とする当時の運輸省による様々な規制があり、どの業者も参入しませんでした。そこに目をつけたのが小倉社長です。誰もやらないから自分がやる！当時の郵政省と運輸省という巨大な監督省庁を相手に何度掛け合っては跳ね返され、裁判も考えたそうです。その時の小倉社長の信念は、「良いサービスを提供すればお客様に喜んでいただける。お客様に喜んでいただければ荷物が増える。荷物が増えると、生産性が上昇し、自然に利益が出る。とにかく良いサービスを提供すること」ということでした。お客様ファーストの経営者としての信念です。そうして、大きな困難をいくつもいくつも乗り越え、宅配事業を確立させると、その後ヤマト運輸に続く会社が増え、宅配事業が社会にとってなくてはならない存在であるインフラになり、現在のとても便利な社会をつくったのです。

小倉社長は社員に次のメッセージを常々伝えていました。それは、「サービスが先で、利益は後から」と言う言葉です。配達員はただのドライバーではなく、営業マンでもあり、どんな山奥でも雪深い山里にも真心と共に荷物を届ける。そんなお客様ファーストによるサービスが業績を伸ばし会社は急成長しました。

では、小倉社長の「志」とは何でしょうか。それは、「会社が従業員の幸福実現に貢献すると同時に、会社が社会に貢献して初めて企業としての会社の存在意義がある」という考えです。彼は亡くなる前に、数十億という資財をなげうって福祉財団を設立し、障害者の社会復帰に無報酬で取り組みました。その根底にある考えは、次の言葉からわかります。「ビジネスは何のためにあるのか？それは働く人の幸せを実現するためにあるのです。障害があろうがなかろうが同じです。」

小倉社長は、2005年に亡くなりましたが、その20年後の今日、宅配事業はさらに発展し、今日、なくてはならない産業に発展しました。彼の経営哲学がまとめられた書籍「経営学」は、死後20年を経た今日でも、企業経営者や企業経営を目指す人のバイブルとして読み継がれています。

今日は、宅急便創業者の小倉昌男さんという人物の考えや行動から、「信念と志」について話をしました。皆さんに、信念や志はありますか？いろいろなことを学びながら、信念や志が持てるようになるといいですね。

あっという間に3月も終わります。一日をかみしめるように有意義な時間を過ごしましょう。

生徒の活躍

東京都中学校音楽創作コンクール 優良賞 歌曲部門  
 足立区図書館を使った調べる学習コンクール 学校図書館部担当校長賞  
 足立区図書館を使った調べる学習コンクール 学校賞  
 第28回図書館を使った調べる学習コンクール 奨励賞  
 第28回図書館を使った調べる学習コンクール 佳作  
 第28回図書館を使った調べる学習コンクール 入選  
 足立区立中学校連合書初め展覧会 研究会長賞  
 足立区立中学校連合書初め展覧会 研究会長賞  
 足立区立中学校連合書初め展覧会 金賞  
 足立区立中学校連合書初め展覧会 銀賞  
 足立区立中学校連合書初め展覧会 銀賞  
 令和6年度足立区中学校冬季研修交流戦バドミントン男子ダブルス一年生の部  
 第一位  
 令和6年度足立区中学校冬季研修交流戦バドミントン男子ダブルス一年生の部  
 第五位  
 令和6年度足立区中学校冬季研修交流戦バドミントン女子ダブルス一年生の部  
 第三位  
 東京都公立学校美術展覧会 出品作品 家庭科  
 東京都公立学校美術展覧会 出品作品 美術科  
 東京都公立学校美術展覧会 出品作品 国語科(書道)

これからの予定

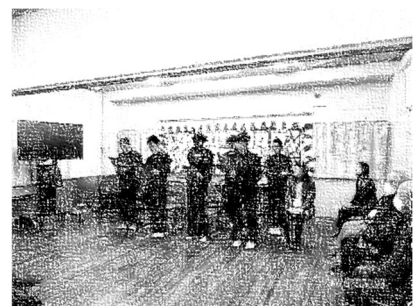
4/5(土)	春季休業日終	4/16(水)	通常授業始、区中研一斉部会
4/7(月)	前期始業式	4/17(木)	全国学力学習状況調査(3年)
4/8(火)	入学式	4/18(金)	専門委員会(⑥カット)
4/9(水)	対面式	4/21(月)	避難訓練
4/10(木)	全校集会、定期健康診断始	4/22(火)	認証式、職員会議・分掌部会(カット有)
4/11(金)	足立区学力調査 7組身体計測	4/23(水)	小中連携の日①伊興中
4/12(土)	土曜授業①第1回保護者会	4/24(木)	歯科検診、専門委員会
4/14(月)	個人写真撮影	4/25(金)	7組校外学習、尿検査1次、救命救急講習

3月3日 7組3年生を送る会

→ 在校生による  
3年生へのお礼の言葉



→ 3年生による  
在校生へのお礼の言葉



→ 卒業生一同記念写真



3月3日、7組による「3年生を送る会」が7組教室で行われました。  
 3年生を在校生が立派に送り出すことが出来ました。

### 3月12日 合唱コンクール

→7組によるハンドベル演奏



2025 03 12

→1年生による「夏の日の贈りもの」



2025 03 12

→2年生による「時の旅人」



2025 03 12

→3年生による「ぜんぶ」



2025 03 12

3月12日 西新井文化ホール（ギャラクシティ）にて合唱コンクールが行われました。7組のハンドベルに始まり、普段練習している学校とは違い、大ホールに響き渡る合唱を聞かせました。学年が上がるほどどの学年・どのクラスもハーモニーが厚くなり、3年生の合唱では低音から高音まで響かせる圧巻の合唱でした。ご来場いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

### 3月13日 花いっぱい運動

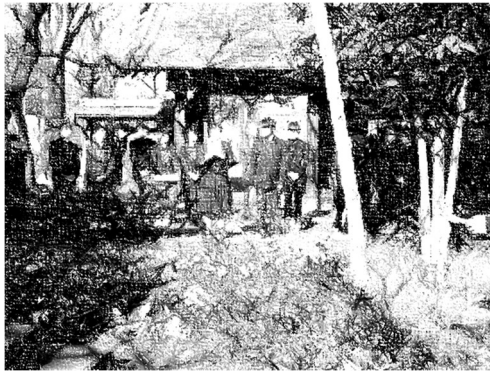
→3年生がマリーゴールドを植えました。



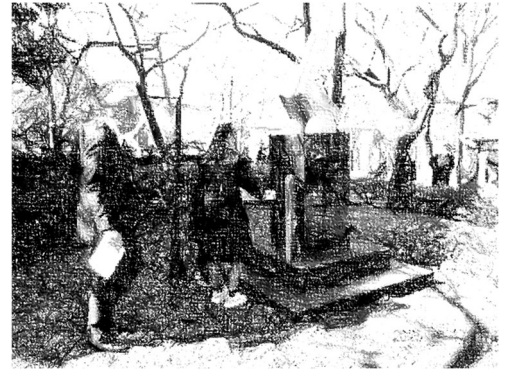
開かれた学校づくり協議会のご協力の下、3年生による「花いっぱい運動」が行われました。当日、植えられた花は正面玄関に飾られ、ご来校者の皆様を温かくお迎えしています。

### 3月17日 飛翔の式

→ 彰風園の飛翔の像の前で誓いの言葉を述べました。



→ 飛翔の像の中に「10年後の私へ」の手紙を入れました。



17日は同窓会の入会式である、「飛翔の式」が彰風園の飛翔の像の前で行われました。同窓会役員をお迎えして、10年後に同窓会で読む「10年後の私へ」を飛翔の像の中にしまいました。10年後の11月3日文化の日が同窓会です。25歳は何をしているのでしょうか。

### 3月19日 卒業式

→ 卒業式の準備が出来上がった会場です。



→ 7組の黒板アートです。愛情を感じます。



→ 3年4組の黒板アートです。



→ 給食室から、人気メニューの写真が展示されました。



3月19日は今年の天気を象徴するかのような雪混じりの天気の中、186名の生徒が伊興中学校を巣立っていきました。3年生は立派な態度で卒業証書を受け取り保護者の皆様、来賓の方々に良い卒業式だったとほめていただきました。悪天候の中来校していただいた保護者の皆様、来賓の方々ありがとうございました。ご卒業、誠におめでとうございます。